

## 第1回 石狩川開発建設部ダム事業費等監理委員会を開催

石狩川開発建設部で現在実施中の夕張シューパロダム建設事業及び幾春別川総合開発事業のダム事業について、一層の事業費・工程監理の充実を図るため、「コスト縮減策やその実施状況」、「事業の進め方等」について学識経験者等のご意見を頂く場として「石狩川開発建設部ダム事業費等監理委員会」を開催いたしました。

### 記

- 開催日時 平成20年9月12日 15:00～17:00
- 開催場所 石狩川開発建設部内会議室
- 議 題

#### 1) 事業概要

#### 2) 事業の実施状況

#### 3) コスト縮減の取り組み

堤体工事における基礎掘削線  
骨材採取・製造の見直し、骨  
材の有効活用  
ダム型式・取水設備の型式の  
見直し  
付替道路工事におけるルート  
見直し

#### 4) 平成21年度 事業実施方針

#### ➤ 審議内容

審議範囲の確認、全体事業の内容、平成20年度の実施内容、平成21年度の事業実施方針等について審議を行いました。



### 「石狩川開発建設部ダム事業費等 監理委員会」委員名簿

委員長（敬称略、五十音順）

名 前	役 職 等
泉 典 洋 いずみ のりひろ	北海道大学大学院 工学研究科 教授
向 田 直 範 むかいだ なおのり	北海学園大学法学部 政治学科 教授
山 下 弘 市 やました ひろいち	元北海道土木技術会 コンクリート研究委員会委員
吉 井 厚 志 よし い あつし	独立行政法人土木研究所寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ グループ長

## 議 事 要 旨

各委員からの主な意見は以下のとおり。

(意見)「ダム事業費」として計上する項目の内容を教えてください。

(回答)実施計画に関わる調査費及び建設に関わる事業費となる。

(意見)水特法(水源地域対策特別措置法)の費用は、ダム事業費に含まれるのか、教えてください。

(回答)水特法において策定される水源地域整備計画の内、ダム建設に伴って実施する道路の移設補償などは、ダム事業費に含まれる。

(意見)審議対象範囲を明確にしてほしい。

(回答)今後の事業費の効率化、コスト縮減やライフサイクルコスト及び工程監理等についても審議いただきたい。既に実施済みの事業費についても、今後実施する事業のコスト縮減につながるものは指摘していただきたい。

(意見)管理段階までのコストも審議対象とするのか教えてください。

(回答)トータルコストを踏まえて、維持管理費(ランニングコスト)を抑えるための初期投資(イニシャルコスト)の必要性などを指摘していただきたい。

(意見)夕張シューパロダムは、なぜ同軸嵩上げにしなかったのか教えてください。

(回答)現ダム(大夕張ダム)の最大放流量 $1,300\text{m}^3/\text{s}$ の流下能力を満たしつつ、かんがい用水の補給、発電などを維持しながら、40m程度の嵩上げ工事を実施する場合、多額の費用を要することが想定されたためである。

(意見)コスト増加原因として「単価の増加」があげられるが、「北海道地区」ではなく、「夕張地区」で整理するなどもっと詳細な検討がほしい。

(回答)検討する。

(意見)夕張シューパロダムでは単価がほぼ変わっておらず、コスト増加の原因とは言えないのではないか。

(意見)幾春別川総合開発事業では、平成15年時点で整理されており、平成20年、平成21年の議論をするには不十分ではないか。

(回答)単価の変動に係る資料は、法に基づく基本計画や基本協定の当初計画と変更計画の総事業費を比較する際に、総事業費の増分の内、単価増の占める割合及び相対的な単価の変動を示した資料である。平成20年、平成21年の事業費ではなく、事業全体の説明となっている。

(意見)環境調査による増額が大きいのが、調査メニューの設定方法を教えてください。

(回答)レッドデータブック等に記載された貴重種等に追加があるため、文献等により貴重種等がダム貯水池予定区域内に存在したという情報があった場合は、調査を行う。また、その存在が確認された場合は、ダム事業に伴う生態系への影響について予測及び評価を行う。

(意見)環境調査は、環境影響評価実施時点で終了しているのではないか。

(回答)現在の環境影響評価は、一度評価を行った後、事業中及び事業完了後に専門家等によるフォローアップ委員会にて評価を行うこととしている。

(意見)再開発事業の意義をアピールするべきである。

(意見)VEやプロポーザルは、コスト縮減に対して効果があるのか、教えてください。

(回答)機能や品質を向上させるとともに、コスト縮減に対しても有効である。